

令和5年度 土木建築委員会 県内所管事務調査の概要

令和6年1月25日(木)

◆調査箇所：県営明野住宅建替事業（大分市明野）

【概要】

当該箇所は、県営住宅として整備され築50年以上が経過しており、建物の老朽化が著しく、全棟にエレベーターも整備されていないなど設備水準も低いことから、大分県公営住宅等長寿命化計画により優先的な建て替えを実施する住宅として位置付けている。

現在は建て替え工事に向けた設計や住民説明会を実施しており、令和11年度に事業が完了予定である。

調査では建て替え予定箇所を視察し、公営住宅室から整備概要、PFIなどの契約内容及び事業スケジュールなどについて説明を受け、質疑応答を行った。



県営明野住宅建替事業

<主な質疑等>

- ・建設資材価格の高騰に伴う対応について
- ・住民説明会の状況、説明内容について
- ・建て替え後の間取りについて

◆調査箇所：国道197号鶴崎拡幅道路改良事業（大分市乙津）

【概要】

当該事業は、大分市庄境から乙津町までの延長2.8キロメートルにわたり道路の4車線化等を施工する道路改良事業であり、当該箇所は計画区間のうち乙津川に新しく架かる橋梁の上部工箇所である。

昨年3月に橋桁の架設を完了し、出水期（6月～）の工事中断を挟んだ10月から工事を再開しており、今年3月末に完了予定である。

調査では施工箇所を視察し、大分土木事務所から進捗状況、橋桁を架設したクレーンの規格変更の内容及び整備スケジュールなどについて説明を受け、質疑応答を行った。



国道197号鶴崎拡幅道路改良事業

<主な質疑等>

- ・橋桁を架設したクレーンの設置箇所について
- ・通常の河川流量と津波対策について
- ・新しい橋に交通切替えした際の車線について